

令和 6 年度

専攻科入学者募集要項



独立行政法人 国立高等専門学校機構

木更津工業高等専門学校

問い合わせ先 学生課教務係

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東 2-11-1

TEL 0438-30-4040

FAX 0438-98-5403

E-mail nyushi@a.kisarazu.ac.jp URL <https://www.kisarazu.ac.jp/>

専攻科のアドミッションポリシー

(入学者受け入れの方針)

木更津工業高等専門学校の特攻科では、以下に示す「求める学生像」に適した者を、「入学者選抜に基本方針」に沿って、国内外から広く受け入れます。

求める学生像

1. 専門とする技術分野の基礎学力と工学的素養を備えている人
2. これまで修得した専門分野以外の幅広い工学分野への興味（好奇心）を持っている人
3. より高度な技術課題と先端的な理工学研究課題に取り組むことのできる基礎能力を身に付けたい人
4. 技術者として社会的責任を自覚し、他者と共同して我が国や国際社会に貢献する意欲を持った人

令和6年度専攻科入学者募集要項

1. 募集人員

機械・電子システム工学専攻	8名
制御・情報システム工学専攻	8名
環境建設工学専攻	4名

2. 入学者の選抜方法

区 分	選 抜 方 法 ・ 日 程		
	推 薦 選 抜	学 力 選 抜	社会人特別選抜
出 願 受 付 期 間	令和5年 4月 24日(月) ~ 25日(火)	令和5年 5月 25日(木) ~ 26日(金)	令和5年10月 26日(木) ~ 27日(金)
選 抜 期 日	令和5年 5月13日(土)	令和5年 6月17日(土)	令和5年11月11日(土)
合 格 発 表	令和5年 5月17日(水)	令和5年 6月21日(水)	令和5年11月15日(水)
入 学 確 約 書 提 出 日	令和5年 5月24日(水)	令和5年 6月28日(水)	令和5年11月22日(水)

3. 「生産システム工学」教育プログラム

本専攻の授業は、JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定を受けた「生産システム工学」教育プログラム(p.16 参照)に基づいて行われます。詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

「生産システム工学」教育プログラムへの編入学

<https://www.kisarazu.ac.jp/gaiyo/jabee/#hennyugaku>

4. 個人情報について

志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

5. その他

- (1) 当募集要項において、TOEIC® L&R (TOEIC® Listening & Reading Test) については、受験時期により、TOEIC® と読み替えてください。
- (2) 募集要項に関して不明な点は本校学生課教務係まで問い合わせてください。

推 薦 選 抜

本校出身者以外で入学する者は、「生産システム工学」教育プログラムへの編入学となりますので、プログラム修了要件を満たすことが可能かを事前に確認します。
必ず出願期間の2週間前までに本校学生課教務係に問い合わせてください。

1. 出願資格

令和6年3月に高等専門学校を卒業見込みの者で、出身学校長が成績及び人物ともに優れていると認め推薦する者

2. 出願手続

(1) 願書受付

期間 令和5年4月24日(月)～4月25日(火)

(郵送の場合は、4月25日必着とする。)

時間 午前9時から午後5時まで

場所 木更津工業高等専門学校 学生課教務係

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東2-11-1

【郵送により出願する場合】

- ① レターパックライトとし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きすること。
- ② 84円切手を貼付し、志願者の郵便番号・住所・氏名を記入した返信用封筒(長形3号)を同封すること。

(2) 出願に必要な書類

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入すること。
受 験 票 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真は、正面脱帽上半身・無背景(縦4cm×横3cm)で、出願以前3ヶ月以内に撮影したものを貼付すること。
調 査 書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したもの。
成績・単位修得 証 明 書	出身学校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したもの。修得単位数が明記されているもの(成績の評定基準は調査書に明示すること)。
推 薦 書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成したもの。
検 定 料	本校所定の振込依頼書に氏名及び住所を記入して事前に払い込み、その振込受付証明書を検定料振込受付証明書貼付用紙に貼付すること。 検定料:16,500円
英 語 の 資 格 に 関 する も の	1. TOEIC® L&R の結果については、「公開テスト」による場合は「Official Score Certificate (公式認定証)」の原本を、「IPテスト(団体特別受験制度)」による場合は「Score Report (個人成績表)」の原本を提出すること。 2. TOEIC® L&R IPについては、オンライン受験の結果は対象としない。 3. 実用英検で準2級以上合格の場合は、最上位の級の和文または英文の「合格証明書」(注:「合格証書(賞状)」ではない)を提出すること。 4. 実用英検で一次試験のみ合格の場合は、「二次受験票」(一次試験の結果が明示されている)等を提出すること。なお、これを紛失等した場合には、日本 英語検定協会に「一次試験合格証明書」の発行(発行手数料1,000円程度)を依頼すること。

出 願 書 類 等	摘 要
	※ 実用英検については「英検CBT」および「英検S-CBT」「英検2020 1day S-CBT」についても通常の英検と全く同じ扱いになるが、いずれも「合格証明書」等の提出が必要となる。
そ の 他	現に、日本国内に在住する外国人は、市区町村長が発行する「住民票の写し（国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの）」又は「在留カードの写し」を提出すること。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けない。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- ③ 願書提出後の記載事項の変更は認めない。
- ④ 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
- ⑤ 身体に障がいがある場合や、疾病・けが等で受験上特別な措置や、修学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、令和5年4月10日(月)までに本校学生課教務係へ相談すること。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、面接(専門科目に関する口頭試問を含む)、出身学校長から提出された調査書及び英語の資格を総合して行う。

選抜日時

日 時	試験科目	時 間	場 所
令和5年 5月13日(土)	面 接	10:00～	木更津工業高等専門学校

4. 選抜結果の発表・通知

選抜の結果、合格者については、令和5年 5月17日(水) 12時00分に発表する。

1. 本校学生課前に掲示
 2. 本校ウェブサイトに掲載(URLは志願者に別途通知)
 3. 合格通知書を本人宛に送付
- 電話等による可否の問い合わせには一切応じない。

5. 入学確約書の提出

合格者は、令和5年 5月24日(水)までに、本校所定の入学確約書(合格通知書送付の際に同封)を提出すること。なお、期日までに入学確約書を提出しない者は、本校への入学の意思がないものとして取り扱う。

6. 入学手続

入学手続きの詳細については合格者に別に通知する。

所定の日時までに入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。

7. 推薦による選抜で合格とならなかった者の取り扱い

推薦による選抜の結果、合格とならなかった者で学力による選抜の受験を希望する者は、改めて次ページの学力選抜の出願手続きを行うこと。ただし、調査書、英語の資格に関するもの、「住民票の写し(国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの)」又は「在留カードの写し」は再提出しなくてもよい。

学 力 選 抜

本校出身者以外で入学する者は、「生産システム工学」教育プログラムへの編入学となりますので、プログラム修了要件を満たすことが可能かを事前に確認します。

必ず出願期間の2週間前までに本校学生課教務係に問い合わせてください。

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者又は令和6年3月までに同要件を満たす見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は令和6年3月までに同要件を満たす見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者又は令和6年3月までに同要件を満たす見込みの者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和6年3月までに同要件を満たす見込みの者
- (7) その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 出願手続

(1) 願書受付

期間 令和5年5月25日(木)～5月26日(金)
(郵送の場合は、5月26日必着とする。)

時間 午前9時から午後5時まで

場所 木更津工業高等専門学校 学生課教務係
〒292-0041 千葉県木更津市清見台東2-11-1

【郵送により出願する場合】

- ① レターパックライトとし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きすること。
- ② 84円切手を貼付し、志願者の郵便番号・住所・氏名を記入した返信用封筒(長形3号)を同封すること。

(2) 出願に必要な書類

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入すること。
受 験 票 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真は、正面脱帽上半身・無背景(縦4cm×横3cm)で、出願以前3ヶ月以内に撮影したものを貼付すること。
調 査 書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したもの。
成績・単位修得 証 明 書	出身学校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したもの。修得単位数が明記されているもの(成績の評定基準は調査書に明示すること)。
出 願 承 諾 書	本校所定の用紙により、所属長が作成したもの。(企業等に在職したまま入学を希望する者のみ)
検 定 料	本校所定の振込依頼書に氏名及び住所を記入して事前に払い込み、その振込受付証明書を検定料振込受付証明書貼付用紙に貼付すること。 検定料:16,500円

出 願 書 類 等	摘 要
英 語 の 資 格 に 関 す る も の	1. TOEIC® L&R の結果については、「公開テスト」による場合は「Official Score Certificate (公式認定証)」の原本を、「IPテスト(団体特別受験制度)」による場合は「Score Report (個人成績表)」の原本を提出すること。 2. TOEIC® L&R IPについては、オンライン受験の結果は対象としない。 3. 実用英検で準2級以上合格の場合は、最上位の級の和文または英文の「合格証明書」(注:「合格証書(賞状)」ではない)を提出すること。 4. 実用英検で一次試験のみ合格の場合は、「二次受験票」(一次試験の結果が明示されている)等を提出すること。なお、これを紛失等した場合には、日本英語検定協会に「一次試験合格証明書」の発行(発行手数料1,000円程度)を依頼すること。 ※ 実用英検については「英検CBT」および「英検S-CBT」「英検2020 1day S-CBT」についても通常の英検と全く同じ扱いになるが、いずれも「合格証明書」等の提出が必要となる。
そ の 他	現に、日本国内に在住する外国人は、市区町村長が発行する「住民票の写し(国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの)」又は「在留カードの写し」を提出すること。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けない。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- ③ 願書提出後の記載事項の変更は認めない。
- ④ 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
- ⑤ 身体に障がいがある場合や、疾病・けが等で受験上特別な措置や、修学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、令和5年5月11日(木)までに本校学生課教務係へ相談すること。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力試験の成績、調査書、英語の資格及び面接の結果を総合して行う。

(1) 選抜日時

日 時	試験科目	時 間	場 所
令和5年 6月17日(土)	数 学(100点) 専門科目(100点) 面 接	9:00～10:00 10:20～11:50 13:20～	木更津工業高等専門学校

(2) 出題分野(専門科目は1専攻を選択する)

試験科目		出題分野
数 学		微分積分, 線形代数
専 門 科 目	機械・電子システム工学専攻	材料力学, 熱・流体力学, 電気磁気学, 電気回路 から 2科目選択
	制御・情報システム工学専攻	制御工学, 電気基礎(電磁気・電気回路), 計算機ハードウェア, 計算機ソフトウェアから2科目選択
	環境建設工学専攻	構造力学, 水理学, 土質力学

(3) 英語の資格に関する換算方法

【換算方法】

TOEIC® L&R 及び TOEIC® L&RIP の場合は、200 点までは 20 点とし、200 点を超える得点について 0.2 を乗じた数字を加算し、小数点以下を切り捨て、100 点を上限とする換算を行う（300 点で 40 点、350 点で 50 点、400 点で 60 点、450 点で 70 点、500 点で 80 点、550 点で 90 点、600 点以上で 100 点となる）。

実用英検については、次のように換算する。

- | | |
|---------------|-------|
| • 準 1 級二次合格以上 | 100 点 |
| • 準 1 級一次合格 | 90 点 |
| • 2 級二次合格 | 80 点 |
| • 2 級一次合格 | 70 点 |
| • 準 2 級二次合格 | 60 点 |
| • 準 2 級一次合格 | 50 点 |

【注意事項】

TOEIC® L&R 及び TOEIC® L&RIP の場合、「公式認定証等の再発行期間」は「試験日から 2 年以内」であるので、注意すること。

4. 選抜の結果の発表・通知

選抜の結果、合格者については、令和 5 年 6 月 21 日(水) 12 時 00 分に発表する。

1. 本校学生課前に掲示
2. 本校ウェブサイトに掲載(URL は志願者に別途通知)
3. 合格通知書を本人宛に送付

電話等による可否の問い合わせには一切応じない。

5. 入学確約書の提出

合格者は、令和 5 年 6 月 28 日(水)までに、本校所定の入学確約書(合格通知書送付の際に同封)を提出すること。なお、期日までに入学確約書を提出しない者は、本校への入学の意思がないものとして取り扱う。

6. 入学手続

入学手続きの詳細については合格者に別に通知する。

所定の日時までに入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。

社会人特別選抜

本校出身者以外で入学する者は、「生産システム工学」教育プログラムへの編入学となりますので、プログラム修了要件を満たすことが可能かを事前に確認します。
必ず出願期間の2週間前までに本校学生課教務係に問い合わせてください。

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ出願時において社会人としての専門的実務経験が1年以上ある者

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 出願手続

(1) 願書受付

期間 令和5年10月26日(木)～10月27日(金)

(郵送の場合は、10月27日必着とする。)

時間 午前9時から午後5時まで

場所 木更津工業高等専門学校 学生課教務係

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東2-11-1

【郵送により出願する場合】

- ① レターパックライトとし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きすること。
- ② 84円切手を貼付し、志願者の郵便番号・住所・氏名を記入した返信用封筒(長形3号)を同封すること。

③

(2) 出願に必要な書類

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入すること。
受 験 票 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真は、正面脱帽上半身・無背景(縦4cm×横3cm)で、出願以前3ヶ月以内に撮影したものを貼付すること。
調 査 書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したもの。
成績・単位修得 証 明 書	出身学校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したもの。修得単位数が明記されているもの。(成績の評定基準は調査書に明示すること)
推 薦 書 又 は 業 績 調 書	推薦書:本校所定の用紙により、所属長が作成したもの。 業務調書:社会人としての勤務業績等を600字以内にまとめたものとする。 (本人作成:様式任意)

出 願 書 類 等	摘 要
出 願 承 諾 書	本校所定の用紙により、所属長が作成したものとする。(企業等に在職したまま入学希望する者のみ)
検 定 料	本校所定の振込依頼書に氏名及び住所を記入して事前に払い込み、その振込受付証明書を検定料振込受付証明書貼付用紙に貼付すること。 検定料:16,500円
英 語 の 資 格 に 関 す る も の	1. TOEIC® L&R の結果については、「公開テスト」による場合は「Official Score Certificate (公式認定証)」の原本を、「IPテスト(団体特別受験制度)」による場合は「Score Report (個人成績表)」の原本を提出すること。 2. TOEIC® L&R IPについては、オンライン受験の結果は対象としない。 3. 実用英検で準2級以上合格の場合は、最上位の級の和文または英文の「合格証明書」(注:「合格証書(賞状)」ではない)を提出すること。 4. 実用英検で一次試験のみ合格の場合は、「二次受験票」(一次試験の結果が明示されている)等を提出すること。なお、これを紛失等した場合には、日本英語検定協会に「一次試験合格証明書」の発行(発行手数料1,000円程度)を依頼すること。 ※ 実用英検については「英検CBT」および「英検S-CBT」「英検2020 1day S-CBT」についても通常の英検と全く同じ扱いになるが、いずれも「合格証明書」等の提出が必要となる。
そ の 他	現に、日本国内に在住する外国人は、市区町村長が発行する「住民票の写し(国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの)」又は「在留カードの写し」を提出すること。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けない。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- ③ 願書提出後の記載事項の変更は認めない。
- ④ 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
- ⑤ 身体に障がいがある場合や、疾病・けが等で受験上特別な措置や、修学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、令和5年10月6日(金)までに本校学生課教務係へ相談すること。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、調査書、推薦書または業績調書、英語の資格、小論文及び面接の結果を総合して行う。

選抜日時

日 時	試験科目	時 間	場 所
令和5年11月11日(土)	小論文 面 接	10:00～11:30 11:40～	木更津工業高等専門学校

4. 選抜の発表・通知

選抜の結果、合格者については、令和5年11月15日(水)12時00分に発表する。

1. 本校学生課前に掲示
 2. 本校ウェブサイトに掲載(URLは志願者に別途通知)
 3. 本人宛に可否を郵送にて通知する。(11月15日(水)12時00分以降に発送)
- 電話等による可否の問い合わせには一切応じない。

5. 入学確約書の提出

合格者は、令和5年11月22日(水)までに、本校所定の入学確約書(合格通知書に同封)を提出すること。なお、期日までに入学確約書を提出しない者は、本校への入学の意思がないものとして取り扱う。

6. 入学手続

入学手続の詳細については合格者に別に通知する。

所定の日時までに入入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。

専攻科入学案内

専攻科の設置

平成 13 年(2001 年)4 月

専攻科の目的

本校専攻科は、5年間の高等専門学校における教育の基盤の上に立ち、より深く高度な専門知識及び技術を教授し、もって広く地域社会並びに産業界で活躍できる実践的かつ創造的な技術者の育成を目的とします。

専攻及び入学定員

機械・電子システム工学専攻	8 名
制御・情報システム工学専攻	8 名
環境建設工学専攻	4 名

修業年限及び修了要件

- (1) 修業年限 2 年
- (2) 修了要件 62 単位以上修得

専攻科の教育目標及び各専攻の教育方針

本校専攻科は、高専準学士課程の5か年一貫教育という特徴を活かしながら、さらに2年間の教育により、幅広い知識と高度な専門技術を伝授することにより、研究・技術開発能力を備えた先端技術に対応できる実践的専門技術者の養成を目的とします。

教育目標は、①高度情報化社会に柔軟に対応できる技術者の育成、②ものづくりを基本とする研究開発型技術者の育成、③グローバル化に対応できる技術者の育成です。

機械・電子システム工学専攻

機械工学と電気電子のそれぞれの分野に高い技術力と、両方の専門分野を融合した柔軟性のある能力を身につけ、先端技術に対応した研究開発ができること。

制御・情報システム工学専攻

情報処理技術を基礎として、意思決定技術、ソフトウェア技術、通信技術、制御技術やメカトロニクス技術に関する技術を修得し、創造的、実践的な制御システム・情報システムの研究開発ができること。

環境建設工学専攻

社会的に深刻となっている環境や都市などの高度で広域化した問題に柔軟に対応できる思考力と創造力を身につけ、これらの問題に対応した研究開発ができること。

専攻科の教育課程及び修了に必要な単位

教育課程は、一般科目、専門共通科目、専門専攻科目で構成されており、授業科目、学年別配当単位数は p.13～p.15 を参照してください。

専攻科を修了するためには次の区分による単位を修得しなければなりません。

専攻	科目	一般科目	専門科目		合計
			専門共通科目	専門専攻科目	
機械・電子システム工学専攻		8 単位	22 単位以上	32 単位以上	62 単位以上
制御・情報システム工学専攻		8 単位	22 単位以上	32 単位以上	62 単位以上
環境建設工学専攻		8 単位	22 単位以上	32 単位以上	62 単位以上

なお、本校の準学士課程第4学年・第5学年と専攻科の2年間をあわせた教育課程は4年間一貫の「生産システム工学」教育プログラムでもあります。(p.16 参照)

学士の学位取得

本校の専攻科を修了し、一定の条件を満たした者については、大学評価・学位授与機構の行う審査を受けて、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合に、学士(工学)の学位を取得できます。

入学時に必要な経費(予定)

費用	金額	備考
入学料	84,600 円	入学手続き時に納入
授業料(現行)	117,300 円	年額 234,600 円 後期分は 10 月に納付
その他経費	15,000 円	後援会入会金(本校準学士課程から直接の入学者以外)
	18,800 円	後援会費

入学料・授業料の免除

入学料の免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡する、風水害等の災害を受けた場合など、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められた場合には、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の全額又は半額が免除される制度があります。

授業料の免除(修学支援新制度)

住民税非課税世帯または準ずる世帯の場合、本人の申請に基づき、選考の上、授業料の3分の1から全額が免除される制度があります。

入学料・授業料の徴収猶予

徴収猶予については、上記免除対象者の条件を満たす外、下記の特別な事情を有する場合には申請者の成績及び家計の状態により徴収猶予の対象とすることがあります。

詳しくは、学生課学生支援係にお問い合わせください。(TEL 0438-30-4039)

- (1) 長期療養者がいる世帯
- (2) 身体障害者がいる世帯
- (3) 母子家庭
- (4) 生活保護世帯

奨学金制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ健康であって学費の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度があります。

その他

その他詳細については、本校学生課教務係まで問い合わせてください。

専攻科の教育課程表(2023 年度)

機械・電子システム工学専攻

区 分			授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				備 考
					1 年		2 年		
					前	後	前	後	
一般科目	一般科目	必修	英 語 総 合	2	2				
			人 間 と 文 化	2		2			
			現 代 文 明	2			2		
		修	技 術 倫 理	2			2		
		選択	ド イ ツ 語 演 習 I	1	1				
			ド イ ツ 語 演 習 II	1		1			
一般科目開設単位小計			10	6		4		一般科目修得単位 8 以上	
専門科目	専門	必修	技 術 英 語 I	2		2			
			技 術 英 語 II	2			2		
			材 料 力 学 通 論	2	2				
			コ ン ピ ュ ー タ 科 学	2		2			
			地 震 防 災 工 学 通 論	2				2	
			問 題 解 決 技 法	1	1				
	共通科目	必修	応 用 数 学 特 論	2		2			3 科目中, 2 科目以上選択
			応 用 物 理 特 論	2	2				
			応 用 化 学 特 論	2	2				
			環 境 工 学 通 論	2		2			2 科目中, 1 科目以上選択
		環 境 化 学 特 論	2			2			
		選択	回 路 工 学	2	2				2 科目中, 1 科目以上選択
			創 造 設 計 工 学	2			2		
			材 料 学 通 論	2		2			2 科目中, 1 科目以上選択
		磁 性 材 料 工 学	2			2			
		選択	技 術 論	1			1		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		2	2					
	専門共通科目開設単位数			32	21		11		専門共通科目修得単位 22 以上
	科目	専門	必修	特 別 研 究 I	6	6			
				特 別 研 究 II	8			8	
				特 別 実 験	2		2		
				特 別 演 習 I	2	2			
特 別 演 習 II				2			2		
専攻科目		選択	開 講 年 度		2024		2023		隔年開講(1,2 年生同時受講)
			生 産 工 学	2			2		2023 年度は“2023”欄の科目 が開講 2024 年度は“2024”欄の科目 が開講
			ト ラ イ ボ ロ ジ ー	2				2	
			シ ス テ ム 制 御 工 学	2	2				
			可 視 化 情 報 工 学	2	2				
			オ プ ト メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学	2		2			
			高 周 波 回 路 工 学	2			2		
			電 磁 波 工 学	2			2		
			エ ネ ル ギ 工 学	2				2	
			半 導 体 物 性	2	2				
			電 気 機 械 エ ネ ル ギ ー 変 換 工 学	2		2			
専門専攻科目開設単位数			40	20		20		専門専攻科目修得単位 32 以上	
専門科目開設単位小計			72	41		31		専門科目修得単位 54 以上	
一般・専門科目開設単位合計			82	47		35		一般・専門科目修得単位 62 以上	

制御・情報システム工学専攻

区 分			授 業 科 目	単位 数	学年別配当				備 考	
					1 年		2 年			
					前	後	前	後		
一般科目	一般科目	必修	英 語 総 合	2	2					
			人 間 と 文 化	2		2				
			現 代 文 明	2			2			
			技 術 倫 理	2			2			
		選 択	ド イ ツ 語 演 習 I	1	1					
			ド イ ツ 語 演 習 II	1		1				
	一 般	科 目 開 設 単 位 小 計	10		6		4	一般科目修得単位 8 以上		
専門科目	専門科目	必修	技 術 英 語 I	2		2				
			技 術 英 語 II	2			2			
			材 料 力 学 通 論	2	2					
			コ ン ピ ュ ー タ 科 学	2		2				
			地 震 防 災 工 学 通 論	2				2		
			問 題 解 決 技 法	1	1					
		共通選択	応 用 数 学 特 論	2		2			3 科目中, 2 科目以上選択	
			応 用 物 理 特 論	2	2					
			応 用 化 学 特 論	2	2					
			環 境 工 学 通 論	2		2			2 科目中, 1 科目以上選択	
			環 境 化 学 特 論	2			2			
			回 路 工 学	2	2				2 科目中, 1 科目以上選択	
	創 造 設 計 工 学	2			2					
	選択	材 料 学 通 論	2		2			2 科目中, 1 科目以上選択		
		磁 性 材 料 工 学	2			2				
		選 択	技 術 論	1			1			
		イ ン タ ー ン シ ッ プ	2	2						
		専 門 共 通 科 目 開 設 単 位 数	32		21		11	専門共通科目修得単位 22 以上		
	専門科目	必修	特 別 研 究 I	6		6				
			特 別 研 究 II	8			8			
			特 別 実 験	2		2				
			特 別 演 習 I	2		2				
			特 別 演 習 II	2			2			
		選択	半 導 体 デ バ イ ス	2	2					
			学 習 制 御	2		2				
シ ス テ ム 制 御			2			2				
通 信 工 学			2			2				
集 積 回 路 工 学			2				2			
数 値 解 析 基 礎 論			2	2						
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学			2		2					
ヒ ュ ー マ ン イ ン タ ー フ ェ ース			2		2					
選択	情 報 通 信 工 学	2			2					
	数 理 モ デ リ ン グ	2				2				
	専 門 専 攻 科 目 開 設 単 位 数	40		20		20	専門専攻科目修得単位 32 以上			
	専 門 科 目 開 設 単 位 小 計	72		41		31	専門科目修得単位 54 以上			
一 般 ・ 専 門 科 目 開 設 単 位 合 計			82		45		35	一般・専門科目修得単位 62 以上		

環境建設工学専攻

区 分			授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				備 考
					1 年		2 年		
					前	後	前	後	
一 般 科 目	一 般 科 目	必	英 語 総 合	2	2				
			人 間 と 文 化	2		2			
			現 代 文 明	2			2		
		修	技 術 倫 理	2			2		
		選	ド イ ツ 語 演 習 I	1	1				
		択	ド イ ツ 語 演 習 II	1		1			
	一 般 科 目 開 設 単 位 小 計			10	6	4	一 般 科 目 修 得 単 位 8 以 上		
専 門 科 目	専 門 科 目	必 修	技 術 英 語 I	2		2			
			技 術 英 語 II	2			2		
			材 料 力 学 通 論	2	2				
			コ ン ピ ュ ー タ 科 学	2		2			
			地 震 防 災 工 学 通 論	2				2	
		問 題 解 決 技 法	1	1					
		共 通	応 用 数 学 特 論	2		2			3 科 目 中, 2 科 目 以 上 選 択
			応 用 物 理 特 論	2	2				
			応 用 化 学 特 論	2	2				
			環 境 工 学 通 論	2		2			2 科 目 中, 1 科 目 以 上 選 択
			環 境 化 学 特 論	2			2		
	選 択	回 路 工 学	2	2				2 科 目 中, 1 科 目 以 上 選 択	
		創 造 設 計 工 学	2			2			
		材 料 学 通 論	2		2			2 科 目 中, 1 科 目 以 上 選 択	
		磁 性 材 料 工 学	2			2			
		技 術 論	1			1			
	イ ン タ ー ン シ ッ プ	2	2						
	専 門 共 通 科 目 開 設 単 位 数			32	21	11	専 門 共 通 科 目 修 得 単 位 22 以 上		
	専 門 専 攻 科 目	必 修	特 別 研 究 I	6	6				
			特 別 研 究 II	8			8		
			特 別 実 験	2		2			
			特 別 演 習 I	2	2				
特 別 演 習 II			2			2			
選 択		環 境 生 物 工 学	2	2					
		構 造 数 値 解 析 学	2		2				
		応 用 構 造 工 学	2	2					
		環 境 情 報 ・ 保 全 工 学	2		2				
		環 境 工 学 特 論	2				2		
		応 用 材 料 工 学	2				2		
応 用 地 盤 工 学	2			2					
専 門 専 攻 科 目 開 設 単 位 数			34	18	16	専 門 専 攻 科 目 修 得 単 位 32 以 上			
専 門 科 目 開 設 単 位 小 計					66	39	27	専 門 科 目 修 得 単 位 54 以 上	
一 般 ・ 専 門 科 目 開 設 単 位 合 計					76	43	31	一 般 ・ 専 門 科 目 修 得 単 位 62 以 上	

「生産システム工学」教育プログラム

本教育プログラムは、準学士課程 4 年次から専攻科 2 年次までの 4 年間一貫の教育プログラムであり、最も得意とする専門分野の知識と能力を身につけて、さらに異なる技術分野を理解し、両分野の知識を複合させる能力を身につけ、そして国際化に対応できる技術者教育を目的としています。

この教育プログラムは、平成 18 年(2006 年)5 月 8 日に日本技術者教育認定機構(JABEE)より認定されました。JABEE 認定された教育プログラムの修了生は、技術士第 1 次試験が免除され技術士補となる資格が得られます。その後、技術士を補助した期間が 4 年以上になると、技術士第 2 次試験を受けることができます。

※ 詳しくは <http://www.kisarazu.ac.jp/gaiyo/jabee/> を参照してください。

「生産システム工学」教育プログラムの養成すべき技術者像

自主自立の精神と国際的視野を持ち、以下の知識及び能力と実践力を備え、他者と共同して社会に貢献できる開発研究型の技術者

- (1) 複合領域の知識を結び付ける研究・開発能力
- (2) 国際化や高度情報化に柔軟に対応できる基礎能力
- (3) 技術者としての社会的責任と倫理の自覚

4 つの学習・教育到達目標

(A) 人間形成

健康な身体と精神を培い、社会に貢献する優れた人間として、幅広い教養をもとに、技術者としての責任を自覚し、その使命を実行しうる技術者

(A-1) 豊かな人間性と健康や身体を培う。

(A-2) 技術が自然や社会に及ぼす影響・効果を理解し、技術者としての責任を自覚する。

(B) 科学技術の修得と応用

自らの専門とする科学技術についてその基礎となる理論および原理を十分に理解し、境界領域にもすすんで活躍しうる技術者

(B-1) 数学および自然科学の基礎知識とそれらを用いた論理的思考能力を身につける。

(B-2) 最も得意とする専門分野の知識と能力を身につける。

(B-3) 異なる技術分野を理解し、得意とする専門分野の知識と複合する能力を身につける。

(B-4) 実験・実習を通して実践的技術を身につける。

(C) コミュニケーション能力

国際化および高度情報化社会に柔軟に対応し、自らの考えを状況に応じて的確に表現しうる技術者

(C-1) 日本語の記述能力を身につける。

(C-2) 情報技術を使いこなし、日本語による発表・討論ができる能力を身につける。

(C-3) 国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を身につける。

(D) 創造力(デザイン能力)

自ら工夫し、また他者と協調して新しいものを造り出す研究開発型の技術者

卒業研究や専攻科特別研究などを通して、次の能力を身につける。

(D-1) 問題解決のために修得した専門知識を応用できること。

(D-2) 創意工夫し問題解決のための計画の立案・実行、得られた結果の考察および整理ができること。

(D-3) チームの中で他のメンバーと協力しながら、問題解決に向けた適切な行動をとれること。

